



(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6年 3月 12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103122		
法人名	社会福祉法人 あと会		
事業所名	グループホーム ダーラナやの・くにくさ		
所在地	広島市安芸区矢野東6丁目9番28号 (電話) 082-889-6668		
自己評価作成日	令和6年1月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	地域運営推進会議による評価
所在地	
	令和6年2月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ダーラナやの・くにくさでは、住宅地の中の1軒の家として自治会に加入し、川掃除などの地域活動に参加しています。家で過ごすことは難しくても、在宅でのかかりつけ医を継続するなど在宅に近い環境に近づくことでその人らしく過ごされています。法人の医師・看護師による医療のバックアップがあり、リハビリ部門からのアドバイスも得てケアに繋がっています。医師・看護師と共に健康管理を重視し、日々の体調変化に早期に対応できご利用者・ご家族の安心につながっています。ご利用者・ご家族としっかり話をする機会をもち、ターミナルケアを希望される時は、家族・医師・看護師と密に連携を図り、家族が見守る中でその人らしい最期を迎えられるようケアを行っています。コロナ禍が明けてからは、感染対策を継続しながら制限を設けた家族や友人との面会や家族との外出を行っています。コロナ禍で中止になっていたボランティアの受け入れを再開し、その他の活動を増やしていく予定です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

コロナ禍は明けましたが継続して感染対策に気を付けられています。生活の中で制限を設けられていますが、リビングの様様替えなどいろいろ考え、少しずつ以前の生活に戻そうとされています。壁飾り等で季節を感じられるよう工夫されています。制限がある中でご利用者が喜びや楽しみを持ち過ごされていることを感じます。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価
I.理念・安心と安全に基づく運営						
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念「3Yのころ」よろこび、やすらぎ、豊かさを基に、職員の意識統一を図り日頃から気付きを相談しながらケアを行っている。		
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に入り、川掃除等の地域活動に参加している。コロナ禍では地域との交流の機会が少なくなっていたが、これからは地域とのつながりを増やしてゆきたい。	交流スペースでのサロン・100歳体操・ラジオ体操等を開催してはいかかでしょうか？毎週になると大変でしょうか、まずは月1回の催しからはじめてみるのが良いと思います。	
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍では運営推進会議を書面にて開催していたが、明けてからは会議を開催しグループホームの取り組みやご利用者の状況を報告している。また構成員からいただいた意見をミーティング等で話し合い、サービスの向上に活かすよう努めている。	認知症の施設なので、認知症カフェとしてみるのはいかがでしょう？コロナ前に交流のあったボランティアさんや地域の方にポスター等でインフォメーションできるといいですね。	
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括支援センター職員に運営推進会議に参加いただき、地域の様子等を確認し、グループホーム内の様子等を報告している。コロナ禍では研修受入は行っていなかった。今後は受け入れてゆきたい。	地域包括支援センターと連携をとられています。今後、研修の受け入れが出来るようになったら、声をかけさせていただきます。	
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍では合同でのミーティングを控えていたが、事業所内で定期的に勉強会を行い身体拘束について学んでいる。勤務内で話し合い、理解、意識統一を図り身体拘束のない		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

				ケアを実施している。また、個別に提案を聞く機会を持ち、必要なことを書面等で全職員に伝えるようにしている。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍では合同でのミーティングを控えていたが、事業所内で定期的に勉強会を行い虐待について学んでいる。話し合いの場を持ち、職員への意識付けを行い、意識の向上、ケアの質の向上に努めている。個別に提案を聞く機会を持ち、必要なことを書面等で全職員に伝えるようにしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的な勉強会があります。プロ意識接して、利用者さ環境を維持してく
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍では合同でのミーティングを控えていたが、事業所内で定期的に勉強会を行い権利擁護に関する制度、成年後見制度について学んでいる。個別に提案を聞く機会を持ち必要なことを書面等で全職員に伝えるようにしている。また話し合いの場を持ち、職員の理解を深めている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご入居前にご家族には施設見学に来ていただき、ご本人様とは事前面接を行い、十分に話し合い納得のうえ契約をしている。また、解約時や制度の改正時などは丁寧に説明し、理解、納得をしていただけるよう努めている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内に苦情・要望検討委員会を設置しており、ご家族様に満足度アンケートを実施し、結果を運営に活かしている。また、事業所の入り口風除室に意見箱を設置している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族と職員の間 やすい、言いやすい。引き続き家族 活かしてください。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍では合同のミーティングを控えていた。個別に提案を聞く機会を持ち、事業所内でできることは反映できている。法人に報告・提案等している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事考課制度を取り入れ職員一人ひとりが目標、役割を持ち、やりがいを感じて働けるよう環境作りに努めている。また、目標面接を行い、職員個々の勤務状況の把握に努め、働きやすい勤務を組んでいるが、常勤職員不足と急な勤務変更による負担が解消できていない。負担軽減に向けて提案等している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	若い人も喜んで と思います。介護 化する中、職員さ 減され、やりがい りに努めて下さい 増は避けられなし に上げる必要があ
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内の研修制度や法人外の研修機会を個々に設けていたが、コロナ禍では研修ができていない。法人内研修内容を共有するようにしている。今後は研修に参加できるようにしていきたい。前項同様に職員の負担を軽減させ、日々の中で学ぶ機会を作り、ケアの向上とともに自信が持てるようにしていきたい。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々努力されて ナ禍が緩和されて 加できたらと思 により外部研修参 ていると思います 持または向上でき

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内での職員研修や同業者が参加する研修会に参加し情報交換をしていたが、コロナ禍では研修に参加できていない。法人内の他事業所との情報交換を行い、サービスの向上に努めている。今後は研修等に参加してゆきたい。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍では洗濯物たたみ切り絵などの個々で出来る家事活動やレクリエーション活動など、その人その人に合った役割を担っていただいている。必要に応じてサポートを行っている。新規入所者へご利用者から声を掛けていただくようお願いし、ご利用者からの声掛けによって安心されることがある。入所者同士の繋がり職員が助けられることがある。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人が大切にしてきたものや馴染みの物の情報収集を行い活用している。かかりつけ医や自宅などとの関係を継続し、ご家族や知人との交流が継続できるよう努めている。定期的に電話がかかり友人と交流を持たれている方もいる。コロナ禍が明けて、現在の面会は予約制で、お二人までは居室で30分。それ以上の人数の場合は交流スペースや各階の玄関で感染予防に努め会っていただいている。	昔からの知り合いと交流が持てるのはいいですね。繋がりを持ち続けることはだんだん難しくなってきますので、このまま支援してください。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者お一人おひとりの思い、意向に添うようコミュニケーションを図り、日々の関わりを大切にしている。1日の過ごし方をふまえてケアに繋げている。また、表情やしぐさから様子を読みとり、ご家族の意向を伺うなどしてケアに活かしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護計画作成時やモニタリング時に関係職員やご本人ご家族と話し合いを行い、課題、意向を検討している。そこで得た情報を介護計画に反映させている。また、ご利用者の状態に合わせ随時カンファレンスを実施し、現状に合わせたプランの見直しを行っている。	面会で居室に入れるようになり様子がわかるようになった。以前は遠慮があったけど、今は思った事は言えるようになった。疑問に思うことは聞き返せるし、対応してもらっている。出来る事、出来ないことを職員さんと話し合い、お互いに共通認識できている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の色々なせ、職員同士で情の人らしい生活」ランを作成し、引安心できるよう取
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日勤帯、夜勤帯の職員が個別の記録を記入し、職員がその情報を共有できるようにしている。また、気づきや状態変化などを連絡ノートや申し送りを通じて職員間で伝達、共有し日々のケアや介護計画の作成、見直しに活かしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	報連相で情報をその人らしいも支援を実践してく
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内の他事業所や協力医院と連携を図り、可能な限りニーズに合わせた対応ができるよう努めている。コロナ禍で中止していた外出は制限を設けて緩和している。	施設内に入ることで見て理解できることが増えた。歯科など情報提供してもらい、本人に合ったサービスを選択することが出来ている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域との繋がりは大切にしてはいるが、今はまだ施設外に出ることがほとんどない。コロナ禍で中止していた外出や交流を少しずつ緩和している。	これから活動していかれることを期待しています。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者、ご家族の希望に合わせて定期的にかかりつけ医の受診、往診を行っている。症状によってはかかりつけ医の紹介で適切な医療機関へ受診できるよう連携をとっている。また、法人ドクターの定期回診、訪問看護による定期健康チェックを行い協力関係を築いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院の際にご利用者、ご家族が安心して入院治療が受けられるよう医療機関に情報を提供している。また、早期退院ができるよう情報交換や相談を行い、出来るだけ退院前カンファレンスに参加し、連携を図るよう努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族よりも日頃把握されているのなど心強く助かり者・家族が安心して下さい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	看取り介護指針を定め、重度化してこられた際には、早い段階で医療職員を交え終末期に向けた話し合いを行っている。また、終末期にはご本人、ご家族の希望に添ったターミナルケアが行えるよう、訪問看護、かかりつけ医との連携を密にして取り組み、ご家族との連絡も密にとり、必要に応じて何度でも話し合いの場を設けている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族として気持ちでも話し合いでき、をされています。られていますと思いませんか。ください。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所内で勉強会を行い、急変時に対応できる実践力を身につけるよう努めている。また、緊急時連絡マニュアルを備え、全職員が把握している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ以前はデイサービスとの合同火災訓練や近隣住民を交えていたが、現在は消防署立会いの火災訓練を行っている。また運営推進会議を通じご利用者の状況をご理解していただき、火災時等のご協力をお願いしている。水害時には2階へ避難するようにしている。時季に合わせた避難や火災避難訓練の問題を基に個別に避難の仕方等を伝えている。	BCPを作成し、災害時に動ける体制を作ってください。大きな地震時に職員から安否や出勤可否のメールをするようにしたのはいいですね。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の安全で避難が難しい時、避難所を確保するのも重要ではあるが、利用者の安全確保や家族への連絡も必要であるため、避難の安否確認も必要
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者個々の人格を尊重し、その方に合った声かけ、対応を行い、プライバシーを傷つけないよう尊厳をもってケアにあたっている。また、定期的に勉強会を行い職員の意識統一、向上を図っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	愛とリスペクトの気持ちで接していると思います。できる限り努めてケアしています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者お一人おひとりの習慣や性格等を把握し、個々のペースを大切にして支援している。また、その日、その時の体調や状態、ニーズに合わせて、日々柔軟な対応を心がけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍では一方向に向かう配置にしていたが、大きなテーブルを復活させ、2～3人が向かい合えないで座れるよう、日々検討している。1つの机を使うことで、ご利用者間の心の距離が縮まってきている。職員は引き続き1人ひとり離れた場所で食事をしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事は楽しみながら食べていると思います。以前のようにならなくても、一緒に準備できたり、おしゃべりや詰まらせ等に気をつけています。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の状態、好みに合わせて食事形態や量、飲み物など工夫して提供している。嚥下困難な方には飲み込みやすい寒天ゼリーを作り提供している。また、栄養管理を法人の管理栄養士が行っている。飲み込みが難しくなった時は受診や歯科に相談するなどして、アドバイスを受けている。退院時の食事形態を病院で確認し、対応している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食後に各居室の洗面台にて、個々の能力、状態に合わせた口腔ケア用品(歯ブラシ、1本ブラシ、歯間ブラシ、スポンジブラシ、マウスウォッシュ等)を使ってケアを行っている。また、歯科往診で定期的に口腔ケアを受けておられる方もいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現体制が維持 ピニオンを取り入 安心できます。引 ください。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの排泄状況を職員は日々情報共有し、個々の状態に合わせた下着、排泄用品を検討している。排泄リズムを把握して、トイレ誘導、見守りを行い可能な限りトイレでの排泄を促している。使い捨て用品は過度な使用とならないよう配慮している。また、医師や看護師に相談しながら便秘解消に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	羞恥心に配慮し い。排泄リズム等 導だと思っていま ないようお願いし 改善のためにリ 個々に合った意見 ます。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	出来るだけご利用者の状態や希望、気分に合わせて対応し、会話を楽しみながらゆっくり入浴出来るよう支援しているが、職員体制によってはそれができない日がある。入浴介			

				助時も職員はマスクを使用し、感染対策に努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態や習慣、その日の調子に合わせた声掛けなどを行い、不安混乱がある場合はゆっくりお話をうかがい、温かい飲み物を提供するなどして良眠できるよう支援している。また、一日を通し個々の体力や状態に合わせて休息を提供している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は各ご利用者の服薬状況を把握しており、薬の変更や状態変化等があった場合はケース記録や連絡ノート、申し送りにて情報共有している。また、症状や体調の変化を随時訪問看護やかかりつけ医に連絡し連携を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ薬をとると良いですね。けてください。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者お一人おひとりの能力やニーズ、状態に合わせて個別で役割や楽しみをもっといただき、生活の中で気分転換出来るよう支援している。コロナ禍で中止していた外出や交流を少しずつ増やしていく予定。	料理など、個々に合った役割を持ってもらってください。“先生役”“私がしてあげないと”という気持ちになるよう働きかけるといいですね。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍では外出や交流を中止していたが、制限を設けて少しずつ緩和している。今後、家族の協力を得ながら外出支援を増やしていきたい。	ドライブ等外出の機会を増やせるといいですね。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はご利用者がお金を持つことの大切さや安心感を理解しており、ご本人の希望に応じてご家族と相談の上、所持していただいているが、コロナ禍では直接支払う支援は行えなかった。今後そういう機会を作ってゆきたい。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望があればいつでも自由にご家族や知人へ電話がかけられるようにしており、使用方法が分からない時は必要な援助を行っている。手紙のやり取りにおいても準備支援投函など必要な援助を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビング、廊下、台所など共有スペースはゆとりある空間となっており、自然光や風が入る大きな窓などご利用者が快適に過ごせるよう環境に配慮している。リビングの窓際には室内花壇があり、植物を育てている。季節に合わせてソファやテーブルを変更しながらご利用者同士がくつろぎやすい居場所を作っている。また、季節を感じられる壁飾りをご利用者と一緒に作成作品している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響 員の工夫で利用 られます。また壁 られます。引き続 続けてほしいです 何もしない時間

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思いを伝えられる方は思いを聞き、思いを伝えられない方は表情や声掛けの反応等から思いをくみ取り意向に沿った支援を行っている。GH内では主体的に過ごしていただいている			
----	----------	--------------------------------------	--	---	--	--	--

				が、自宅で生活したいという思いが根底にある方が数名いる。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH 内の生活では事前面接の情報、入居時のサマリーや生活歴などの情報をもとに、それぞれに必要なケア、支援を受けている。コロナ禍の影響で GH 外でのケアや支援はあまりできていない。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にかかりつけ医の受診や往診を受け、体調不良時には訪問看護や医師に報告相談し、必要なケアや支援を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分は守られて 思います。引き続き と連携してください
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ家での生活の延長になるように、本人の希望をうかがい、生活歴などの情報を参考にして、ご自分のペースで楽しみをもって過ごせるよう支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使っていた物、ご家族の写真、自分の作品など、個々に必要な物を居室に飾っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室が安らげる 本人らしい空間の 品を貼っている画 つながらないよう
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響から受診以外の外出がほとんど出来ていないが、数名は家族と外出された。	出かける機会を作ってあげてください。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度の方は難しいが、一人ひとりにあったレクリエーションを提供し行われている。積極的に洗濯物たみなどの役割を持たれている方も。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣席者や職員に自ら挨拶し、声をかけ会話を楽しまれている。面会や電話で家族や友人との会話を楽しまれる方もいる。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その場の雰囲気を楽しめるよう引き
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響で近隣や地域の人々との交流は少ないが、保育園児との交流でプレゼントをもらいとても喜ばれていた。	園児との交流はいいですね。これから交流の機会を増やしてあげてください。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響で外出ができない、家族と自由に会えない等の制限はあるが、職員や入居者と交流を持ち、安心した生活を送ることはできている。	良いことばかりではなく、マイナスなことも伝えてもらい、職員さんと言いやすい関係性が出来ています。本人から～してもらった等聞くことがあり、安心して生活していることがわかります。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これから徐々にね。 職員の頑張りや安心が感じられます。 コロナ禍で家族が、職員を信頼する姿を見ると、良い柄、尽力に感謝し、ろしくお願ひします。

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームダーラナやの・くにくさ

作成日 令和6年3月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	36	コロナ禍で外出機会がなく閉じこもった生活になっている。	外出の機会や集団での楽しみを増やす。	行事、ドライブなどの楽しみの計画を立て実行する。	令和6年3月～令和7年2月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。